単 元 名	Unit 7　　アメリカの学校から	配当時間	４～７時間
単元の目標	(1) ホームページを利用して海外の情報を得たり，身近なことについて発信したりしようとする。 (2) What time，様子・手段・方法などを尋ねるHowやWhoを用いて身近なことについて問答することができる。 (3) アメリカの中学校の学校紹介の内容や由美の一日の生活の様子を理解することができる。 (4) ｏWhat time，How，Who の用法を理解することができる。 ｏ時差について理解したり，アメリカと日本の中学校生活の違いを理解したりすることができる。		

☆本単元では，What time, Who, How等を用いた問答ができるようにし，表現の幅を広げさせたい。また，ホームページというものの紹介を通してインターネットに対する関心を深めるとともに，英語を用いて海外に発信することへの意欲を高めたい。

①★**Part 1** 時刻や天候についての質問の仕方や答え方を知り，問答する。 時刻や天候について友達と質問しあおう。 評What time, Howを用いて，身近なことについて問答することができる。（発表，観察） ②★**Part 2(1)** 自分の知らない人についての質問の仕方や，答え方を知り，問答する。 友達の知人がどんな人か尋ねたり，自分の知人がどんな人かの質問に答えたりしよう。 評Whoを用いて，身近なことについて問答することができる。（発表，観察） ③　**Part 2(2)** What time, How, Whoの用法を確認し，それらを用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ④★**Part3** アメリカの中学校の登校日や授業時間を知る。 ⑤★**Part 4** アメリカの中学校での外国語教育や授業後の活動の様子を知る。 ⑥　**単元のまとめ** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。 ⑦　**Speaking Test**　自分が通っている学校についてＡＬＴの面接テストを受ける。	①・対話による口頭導入 ・本文の範読 ・T or FまたはQ & A ・生徒との対話形式の口頭練習 ②・対話による口頭導入 ・本文の範読 ・T or FまたはQ & A ・生徒との対話形式の口頭練習 ③・コミュニケーション活動のデモンストレーション ・コミュニケーション活動における生徒の相手役 ④・本文の範読 ・T or FまたはQ & A ⑤・本文の範読 ・T or FまたはQ & A ⑦・インタビュアー

ｏ①では，世界の時差の一覧表や，時差の入った世界地図などを使って外国での時刻も尋ねあわせたい。

ｏ③，④では，教科書の例以外にも日米の学校の制度の違いを知らせることで，題材の理解をより深めたい。
ｏSpeaking Testにおいては全員に課題を与えておき，テストを受ける数人のグループだけをＡＬＴのいる別室に行かせる。